

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-04 清掃一般運営事業 □支 援 部 門										
主管課	資源循環課				関連課						
分野名	生活環境										
目標 (目標値)	一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指す。										
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	人 口	177,895人	177,224人	177,204人							
	世 帯 数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯							
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	2,735	3,263	3,477							
	(国・県)										
	(負担金等)	633	697	663							
	(一般財源)	2,102	2,566	2,814							
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人							
	人 件 費(千円)	8,065	8,647	8,939							
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	10,800	11,910	12,416							
	市民1人当りの経費(円)	61	67	70							
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)				
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
清掃一般運営事業	2,735	環境運営事業	6,748	今後の 方向性	A	理由 ・手法	廃棄物減量化及び資源化推進審議会、廃棄物減 量化等推進員に関する事務			
				今後の 方向性		理由 ・手法				
				今後の 方向性		理由 ・手法				
				今後の 方向性		理由 ・手法				
				今後の 方向性		理由 ・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	ごみ処理基本計画(中間見直し)再構築に基づき、ごみ減量、資源化する施策を進めていく。											
課題解決のための取組	ごみ処理基本計画(中間見直し)再構築に基づくごみ減量施策の進行管理を、アクションプログラムにより行った。							取組の結果	□解 決 ■未解決			
未解決の課題	平成27年度の年間ごみ焼却量29,923tを達成すること。											
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会で引き続き、ごみ処理基本計画(中間見直し)再構築の進行管理を行い つつ、廃棄物減量化等推進員とともに3R事業を推進していく。平成26年度は、災害廃棄物処理計画の見直しを行う。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡		A		
※□事業完了												

評価者名

資源循環課担当課長

内海 春信

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
清掃一般運 営事業	廃棄物減量化及び資源化推進審議会、廃棄物減量化等推進員に関する事務					○	○	○	○
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		557	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 9人	216	492	○	○	○	○
		557	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		557	廃棄物減量化等推進員等謝礼	1,050	1,002	○	○	○	○
		557	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員費用弁償	17	12	○	○	○	○
		558	事務補助嘱託員等費用弁償	144	112	○	○	○	○
557	一般廃棄物処理手数料等賦課徴収用印刷物印刷製本費	95	91	○	○	○	○		
※ 事業完了									

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									